

七尾市 議会だより



第33号

七尾市議会だより第33号 ●発行／平成25年2月5日 ●編集／議会だより編集委員会



ふるさと祭り東京(お熊甲まつり)

INDEX

定例会の概要	2
一般質問(15名が登壇)	3～10
常任委員会審査の要旨	10
議会報告会について	11
提出された議会議案・議会の動き	12

一般会計補正予算 28億7,433万7千円増額

第4回定例会は12月4日から12月19日までの会期で行われた。市長から提案された平成24年度七尾市一般会計補正予算（第5号）などの議案37件、報告3件が各常任委員会に付託され、審議された。最終日には各常任委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され採決を行った結果、議案及び報告が全て可決及び承認された。その後、追加議案3件、同意案5件の提案理由説明が行われ、採決した結果、可決・同意された。

また、意見書等に関する議会議案12件が提出され、うち11件が可決され、1件が否決された。その後、垣内武司副議長の辞職が許可され、直ちに副議長選挙を行った結果、伊藤厚子議員が当選し、市議会定例会を閉会した。

平成24年度七尾市一般会計補正予算（第5号）

◇現計予算に28億7,433万7千円を追加し、総額345億7,196万6千円とするもの。

平成24年度七尾市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算（第2号）

◇現計予算から681万5千円を減額し、総額5億4,178万4千円とするもの。

平成24年度七尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

◇現計予算から85万4千円を減額し、総額3億5,808万円とするもの。

◇現計予算に1億1,915万円を追加し、総額70億1,760万8千円とするもの。

平成24年度七尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）

◇現計予算から264万7千円を減額し、総額65億2,214万9千円とするもの。

平成24年度七尾市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）

◇収益的支出の現計予算に1,481万2千円を増額し、総額15億7,239万7千円とし、資本的支出の現計予算に131万7千円を増額し、12億8,111万9千円とするもの。

平成24年度七尾市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

◇現計予算に126万7千円を追加し、総額37億6,425万2千円とするもの。

平成24年度七尾市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第2号）

◇現計予算から589万9千円を減額し、総額1億7,017万3千円とするもの。

平成24年度七尾市水道事業会計補正予算（第1号）

条例の改正

- ◇七尾市防災会議条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市暴力団排除条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市税条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市手数料条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市基金設置条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市保育園条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例について
- ◇七尾市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準条例について
- ◇七尾市指定地域密着型サービスの事業者等の指定に関する基準を定める条例について
- ◇七尾市公設地方卸売市場条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市能登島グラウンド条例について
- ◇七尾市湯つ足りパーク条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市和倉温泉運動公園条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市風致地区内における建築等の規制に関する条例について
- ◇七尾市都市公園移動等円滑化のために必要な特定公園施設の構造に関する基準を定める条例について
- ◇七尾市都市公園条例の一部を改正する条例について
- ◇七尾市港湾施設管理条例の一部を改正する条例について

平成25年度予算編成の基本方針について

議会

答弁：新たな財源の確保に努める

岡部 俊行 議員



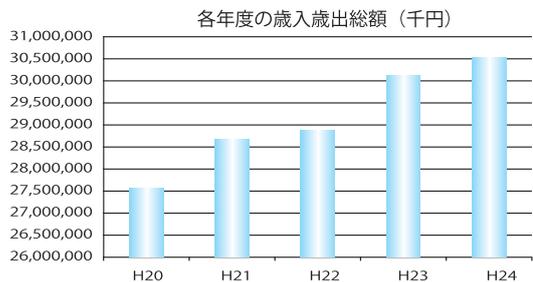
岡部議員 七尾市においては、本格的な少子高齢、人口減少が到来し、飛躍的な経済成長が見込めない事態を迎えています。歳入の根幹をなす市税も雇用の低迷、企業収益の悪化等により個人所得の

伸びが期待できない状況で依然として厳しい状況です。このような中で、予算編成の基本方針、重点施策について伺います。
不嶋市長 七尾市の財政状況については、歳入は長引く景気の低迷により、個人、法人市民税とも低調であり、火力発電所をはじめとする固定資産税も減収が見込まれています。一方、歳出では社会保障費が年々増加することに加え、老朽化する施設の維持補修費なども増

加傾向にあり、依然として厳しいものがあります。こうした中ですが、人が輝く交流体感都市の実現に向け、しっかりと取り組みを進めて行く必要があると考えています。また、予算編成ですが、事務事業の見直しや新たな財源の確保に努め、適切効率的な施策を提案するように職員に指示したところです。特に、能越自動車道や北陸新幹線など、交流基盤の整備が着実に進んでいます。マニフェ

ストに掲げました、「活力あふれる地域産業づくり」、「訪れたくなるまちづくり」、「安全・安心市民の暮らしを守る」、「産業・交流・市民生活を支える社会基盤づくり」、「未来を担う人づくり」を重点施策として、こうした事業に戦略的に財源を配分したいと考えています。

●その他の質問項目 ○起債と健全財政



国民健康保険特別会計について

礎

答弁：実施に向けた検討を行っている

木下 敬夫 議員



木下議員 国民健康保険会計は、医療給付費の増加が毎年取りざたされています。平成20年度の41億強から23年度の46億円強と、4年間で5億円が増加となり、財政負担が重くなっています。

そこで、広島県呉市が実施している糖尿病重症化予防を中心とする保健事業、支援サービスヘルスケアやまるという事業を行っていますが、この取り組みをどのように評価されているか伺います。呉市方式の取り扱いをしている方と知り合い、健康福祉部の担当と話し合いを持つことがありました。この事業には、自治体関係者や議員の視察も多く、費用対効果の見え

る新たな保健事業として関心が高くなっているとのこと。七尾市の担当も認識していると思いますが、この取り組みをどのように評価されているのか伺います。
不嶋市長 呉市では、慢性疾患がある国保の加入者に対して、処方されている新薬とジェネリック医薬品（後発医薬品）との差額を通知する取り組みで、医療費の削減に効果を上げています。ジェネリック医薬品への切りかえについては、御本人

の意思により、まず、医師、薬剤師に切りかえが可能かどうか相談するところから始まります。切りかえられれば、本人負担の軽減はもとより、呉市のように医療給付費の削減にもつながりますので、当市としても、今、実施に向けた検討を行っているところです。

●その他の質問項目
○訪れたくなるまちづくり
○活気あふれる地域産業づくり



新政府に何を望むのか

答弁：停滞のない国政運営をお願いしたい

荒川 一義 議員



荒川議員 12月16日の衆議院総選挙の結果に伴う新政権の構造によっては、平成25年度予算編成を実質的に白紙に戻し、すべてやり直しとなる可能性は否定できません。一方で、国会法では、政府予

算を来年1月中の国会提出を常例としていることから、新政権は実質1カ月での予算編成が必要とされ、3月末での予算成立が困難な場合は、暫定予算ということにもなります。このようなことから七尾市においても、平成25年度当初予算編成や財政運営も難航の度を深めることが懸念されます。これまでも、赤字国債法案の成立がおくれるなど、国会の空転により、党利党略と言わざるを得ない、

算を来年1月中の国会提出を常例としていること
から、新政権は実質1カ
月での予算編成が必要と
され、3月末での予算成
立が困難な場合は、暫定
予算ということにもなり
ます。このようなことか
ら七尾市においても、平
成25年度当初予算編成や
財政運営も難航の度を深
めることが懸念されます。
これまでも、赤字国債法
案の成立がおくれるなど、
国会の空転により、党利
党略と言わざるを得ない、

そして国民に背を向けた
政治が続いたように思い
ます。そこで市長には、
七尾市のかじ取り役とし
て、今度できる新たな政
府にどんな政治を求めて
何を望むのかを伺います。



国会

●その他の質問項目

- 市長の政治姿勢
- 市長マニフェスト
- 七尾市総合計画
- 世界農業遺産国際会議
- 寺町サミット開催
- 健康マイレージの導入



南大舌地域づくり協議会

地域づくり協議会の役割について

礎

答弁：支援を引き続きしていきたい

高橋 正浩 議員



高橋議員 基本条例には具体的には明記してはありませんが、市民側が自助及び共助を進めるための枠組みとして、また、市民と行政をつなぐ結節点として地域づくり

協議会があると思われま
す。これについては、既
にモデル的に6つの協
議会が運営されており、今
後もふやしていく予定だ
と聞いています。地域づ
くり協議会のこれまでの
実績に対する評価、そし
て、特に公民館との関係
も含めた今後に期待する
地域づくり協議会の役割
についてどのように考え
ているのか伺います。

えて、各種団体が持つ力
を有機的に結びつけて一
体的に地域づくりを実施
する制度や運営のあり方
について、今しつかり勉
強をしていただいていま
す。それぞれの協議会で
は、主体的な運営のもと、
地域にある問題や課題を
検証しながら、防災訓練
や防災マップ作成、ある
いは支え合いマップ作成
など、地域防災や地域福
祉ネットワークについて
話し合いや活動が行われ
ており、一定の効果が上

●その他の質問項目

- 七尾の教育力向上
- 七尾の発信力向上

デマンドタクシーの本格運転の実施について

市民クラブ

答弁：今後も引き続き検討していきたい

佐藤 喜典 議員



佐藤議員 2007年10月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が施行され、2009年3月16日に七尾市地域公共交通協議会が設置され、実証運行を3地区で実施

しました。このことは6月の定例会にも質問がありました。今後本格運行するか、もっと変更して、改めてまた実証運行をしていくかについては、検討して対応したいという答弁がありました。本格運転を実施していくための課題は何か。また、今後の展望についても伺います。

岡町、上湯川、沢野町、佐味町の一部を対象に、2度にわたって実証実験を行いました。主に買い物や通院の足として利用してもらうために、対象地域と七尾駅や主要な病院との間を1日2往復で実施しました。実証実験は1人での利用が多く、1便当たりの利用者が少ないこと、1便の運行当たりの行政負担が大きいこと、これにより、利用者が特定の人に偏りがちであること、また、民間

の交通事業者の経営に影響があるといったような課題も浮き彫りになりました。こうした課題解決に向けまして、利用する地域の方々への協力も今後求めながら、引き続き検討していきたいと考えています。



コミュニティバス

無党派 都市計画道路について

答弁：開通後の状況を見定めた上で、整備時期を検討したい

磯貝 和典 議員



磯貝議員 市道東湊62号線の拡幅工事も完了し、また、能越道東インターの供用開始も間近に迫りました。まちづくり懇談会で当初計画されていた都市計画道路大田新線は、当初、物流拠点としての

公設市場とこの市道東湊62号線を直線でつなぐ計画でなく、外環状道路との接続案でしたが、地元から市道東湊62号線へ接続するよう提案されました。この計画道路は、早急に建設しなければ東インターの供用開始に間に合わないと考えますが、どのように考えているのか伺います。

意見を踏まえて都市計画道路を廃止とし、改めて大田町地内の国道160号から市道東湊62号線の区間を、延長約350メートル、幅員12メートル、片側歩道を含んでいます。が、そういう計画で市道東湊195号線として認定したところ。今後は、七尾港の日本海側拠点港への昇格に向けた取り組みなど大田埠頭への貨物の利用状況や能越自動車道、七尾バイパスの開通後の状況を見定めた

上で、整備時期を検討していきたいと考えています。

●その他の質問項目

- 原発問題
- 子どもの医療費無料化
- 就学援助制度
- 住宅リフォーム助成制度
- 国民健康保険
- 高齢者対策
- 臨時職員



市道東湊 62 号線・市道東湊 195 号線交差点予定箇所

七尾港の利用拡大について

無党派

答弁：石川県と協議していく

久保 吉彦 議員



久保議員 谷本知事は、七尾港の利用拡大を図るため、北米材原木の試験輸送を12月に実施することを明らかにしました。県としては、原木の拠点化形成促進港の実績を積

み重ね、日本海側拠点港の指定につなげたいという思いがあると思います。そこで伺います。原木を一括輸入した際に、夏対策を考えているのか。お木材にすれば干割れが入り、皮つき材だと虫が入ります。水面に入れば海水にフジツボがつき、フナクイムシが入ります。このことに対して、市はどのような対応をしているのか伺います。

流入が少ない臼池水面貯木場が大きな魅力となつています。原木の夏場の干割れやフナクイムシ被害については、荷主や荷役会社も細心の注意を払っていると聞いています。こうした中、港湾に關係する企業から干割れ防止のためのスプリンクラーの設置や臼池水面貯木場の改修などいろいろ御意見をいただいています。これまでも、石川県はフナクイムシ被害に対応するため海水流入口

の改修などを行っており、今後対策について石川県と協議していきます。

●その他の質問項目

- ふるさと七尾づくり
- 矢田郷公民館建設地



七尾港



清友会 全国瞬時警報システム及び緊急防災システムについて

答弁：防災ラジオは一部負担をお願いしたい

永崎 陽 議員



永崎議員 9月に実施された、Jアラートの放送試験結果はどうでしたか。Jアラートと七尾市が進める防災システムに連動する移行体制についても伺います。また、緊急防災システムでは、野外拡

声子局と防災ラジオしか伝達方法がないならば防災ラジオの全戸配布を求めるが考えを伺います。加えて、聴覚障害者の携帯電話の防犯メールの利用状況やケーブルテレビでの字幕放送の対応についても伺います。

から運用します。防災ラジオは、平成25年度から市内全域を対象とし、配備については一部負担をお願いしたいと考えています。聴覚障害者の登録者にはファクスで情報提供をしています。今後も様々な情報媒体を使って確実に情報が伝わるようにしたいです。また、防災防犯メールの登録者数は693名です。

●その他の質問項目

- 市長の所信
- 自然エネルギーの普及と原発に対する思い
- 北陸新幹線開業に伴う七尾線の対応
- 教育振興基金

市民クラブ

放射線教育について

答弁：体験を通じた取り組みを推進していきたい

山添 和良 議員



山添議員 文部科学省は、放射線等に関する副読本を作成しました。従来あった原発の安全性を強調する記述はなくなりましたが、福島原発の被害に言及しているのは前書きだけにとどまってい

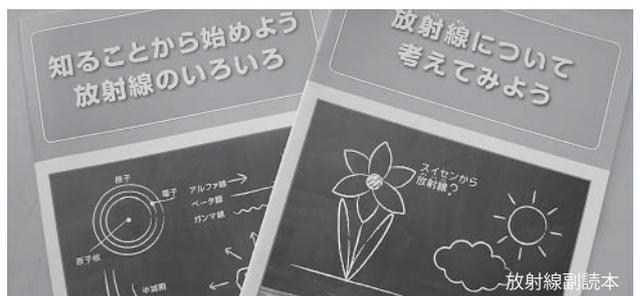
ます。授業などでの使用方は各教育委員会及び学校に判断を任せるとしており、学校現場でどのような形で放射線教育がなされているか不透明です。七尾市では、副読本をどのように活用しようと考えているのか。また、放射線教育全般に対する教育委員会の見解を伺います。

三浦教育長 副読本は、既に1学期の段階で小・中学校19校すべての学校が活用しています。小学校では主に学級活動で、中学校では主に理科の授業に活用しています。また、今回の事故も踏まえ、エネルギー資源の一つとして放射線の安全性を含め指導しています。教育委員会としては、全中学校に放射線測定器を配備し理科の実験に活用しています。小学校では、第4回七尾・中能登町18小学校6年生による環境学習発表会で校区の放射線を調べた学校が取り組みを紹介するなど啓発活動

を進めた発表がありました。このように、放射線の基礎知識や人体への影響、目的に合わせた測定器の利用方法、事故が起きたときの心構えを学び、今後、体験を通じた取り組みを推進していきたいと考えています。

●その他の質問項目

- 原子力防災対策
- 西エリアの中学校統合
- 平和写真パネル展
- 男女共同参画社会実現
- 就学支援



松本 精一 議員



松本議員 水産業強化対策整備交付金8,000万円について、カキ処理施設に対する国庫補助金であるということですが、当初この事業に対する計画説明では、総事業費1億4,000万円であり、

うち7,000万円が市補助で、受益者負担が7,000万円ということであったはずですが、今後の事業費の処理方法としてはいかなることになるのか伺います。また、日本海側随一の生産量を誇り、七尾市にとっても重要な産業資産であるカキ養殖が大ピンチに陥っています。一部報道では、通常の5割程度の生産量と推定されています。今後の安定生産基盤を保つためにも救済措置制度は考え

られないのか要望もしておきたいと思えます。

小川産業部長 総事業費の考え方については、当初事業費は1億4,000万円を予定していましたが、現在、事業費を1億6,000万円としています。この増額分については、建設を予定している箇所がかなりの軟弱地盤であったということ、費用がふえたということ、補助金については、当初見込んでいなかった国庫補助金が受け

られるという見込みがあったことから2分の1に相当する8,000万円を計上したものであり、事業費は増加しましたが、補助金が入ることで受益者、カキの業者の方々の負担が軽減されたということです。

●その他の質問項目

- 少年科学館
- 城山野球場使用料及び照明料
- 定住人口の拡大策



中島町筆染地内の一時保管場所

カキ殻処理施設について

基礎

答弁：国庫補助金により受益者負担が軽減された

地域包括ケアシステムの推進について

灘云

答弁：サービスの充実に努めていきたい

桂 徹男 議員



桂議員 厚生労働省が今提唱している地域包括ケアシステムの実態として、これからふえていくニーズに恐らく対応していきないうと私は思っています。現在、七尾市に

おいて訪問介護事業所、それから訪問看護事業所で、それぞれ2カ所、5カ所の合計7カ所、24時間体制で要請に応じて訪問介護看護サービスを行っていますが、今後、在宅要介護高齢者がふえていく中で、対応していかないのではないかと懸念しています。このような状況にどのような対応をしようとしているのか伺います。

岡野健康福祉部長 将来の在宅介護サービスの需

要増を想定し、七尾市では平成20年度からデイサービス、ホームヘルプサービス及び宿泊機能を持ち合わせた小規模多機能型居宅介護施設の整備を進めています。現在、4施設が整備されていますが、第5期の介護保険事業期間中（平成24年から26年の3カ年）、新たに2つの施設を整備することになっています。また、ひとり暮らし高齢者、老夫婦世帯がふえる中で、24時間365日対応のホ



清友会

能越自動車道関連について

答弁…開通に向け、引き続き関係方面に働きかけを強めていきたい

高僧 弘 議員



高僧議員 大泊インターから城山インターの間の供用開始の日が近づいてきました。また、大泊インターから七尾インターまでも平成26年供用開始は間違いのないものと思っています。以前からこの

道路を利用して活性化につなげたいとの思いはだれでも思っていることです。市長の提案説明で「北陸新幹線の金沢開業」「能越自動車道の七尾までの全線供用」など、七尾の魅力を全国に発信する、交流人口の拡大を図るとも述べています。市民は大いに期待していると思いますが、活性化に向けての考えを伺います。

不嶋市長 平成26年度末には能越自動車道が仮称七尾インターまで開通することになります。これにより中京方面からのアクセスが飛躍的に向上し、中京圏や海のない沿線地域から人、物の交流が活発になると思っています。また、開通が北陸新幹線の開業と同時にということ、新高岡駅経由での入り込みも期待しているところ、新高岡駅を経由して、高岡市や飛騨高山各地の自治体や経済関係団体と協力して、開通効果が高まるようにしっかりと今

から取り組んでいきたいと考えています。加えて、能越自動車道は交流人口の拡大等の経済効果のみならず、災害時の避難道路としての機能も担っています。26年度末の着実な開通に向け、引き続き関係方面に働きかけを強めていきたいと考えています。

●その他の質問項目
○新年度予算編成



能越自動車道建設現場

市民クラブ

企業流出対策について

答弁…既存企業の現状把握に努め支援していききたい

山崎 智之 議員



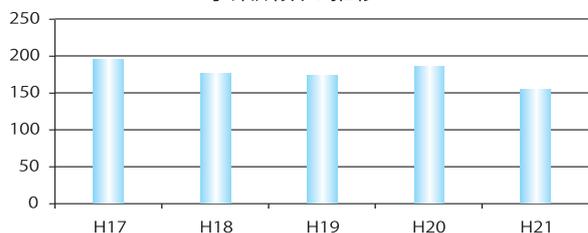
山崎議員 今回の企業流出、行政の企業調査能力が不足してきたことは否めません。企業対応の人員を強化し、調査手法も抜本的に改めるべきではないか。これは1企業だけの問題ではありません

ん。能登有料道路の無料化、能越道の開通により、今後も起こり得る話です。市内全事業所の調査を行うべきであり、調査結果に基づいて地元企業の支援体制を整備、拡充すべきではないでしょうか。また、今回の件で離職、転職、そして市外への転居を考える従業員が出てくる可能性があります。相談・支援体制というものを速やかに取り組むべきではないか。考えを伺います。

小川産業部長 従業員の方々については、津幡工場に引き継ぐとしていますが、七尾市としては、経済界とともに今後の状況を把握しながら、労働環境への配慮、協力工場との取引継続、跡地の利活用等について申し入れていきます。特に雇用については、通勤が不便で例えば自主退社される方が出てきた場合には、再就職先のあつせんなどを企業に強く申し入れていきたいと考えています。

今後は、企業が撤退・閉鎖とならないよう、これまで以上に企業訪問を行い、情報アンテナを高くし、既存企業の現状把握に努め、状況に応じて企業と話し合いを進めながらできる範囲で支援していききたいと考えています。

事業所数の推移



- その他の質問項目
- 行財政改革、「防災」と「環境」の分離
- シンボル制定
- 聴覚障がいのある方に対する利便性向上

常任委員会の審査要旨

総務企画、教育民生、産業建設各常任委員会に付託をされた議案・報告の審議が行われた。

総務企画常任委員会

●議案13件及び報告1件を審議し、全会一致で原案のとおり可決した。

教育民生常任委員会

●議案10件を審議し、全会一致で原案のとおり可決した。なお、平成25年度より指定管理委託するサンビーム日和ヶ丘ですが、民間のノウハウを取

産業建設常任委員会

●議案17件を審議し、出席委員全会一致で原案の

り入れ、今まで以上のサービスの向上に努めていただきたい。また、指定管理者の評価については、内部評価・外部評価も含めて、市の施設が無駄にならないよう、管理監督を行っていただきたいと要望を付した。

とおり可決した。なお、気象庁は12月から2月までの向こう3カ月の天候について、平均気温は平年並みまたは低いとのことであり、降雪量も平年並みまたは多いとの見通しを発表しています。近年、七尾市では市民生活に大変大きな影響を及ぼしているゲリラ大雪が頻繁に発生しております。その教訓を生かし、今年度の除雪には万全の体制

で挑んでいただき、市民生活に支障を来さぬよう迅速に対応して欲しいとの要望を付した。



総務企画常任委員会

【議会人事について】

平成24年第4回定例会において、議会人事が左記の通り変更がありました。

◎副議長

伊藤 厚子 議員 就任
垣内 武司 議員 退任

◎議会運営委員会委員

垣内 武司 議員 就任
杉本 忠一 議員 退任

第2回七尾市議会報告会結果報告

前回同様に、A、B班の2組に分かれ、11月12・13・20・21日の4日間に亘り8会場で開催し、報告会では6月定例会、9月定例会及び臨時議会での審議内容を中心に説明させていただきました。総勢110人の方々にお越しをいただきました。心から厚く御礼申し上げます。



日 時：11月12日(月)
午後7時～
会 場：能登島市民センター (A班)
参加者：17人

◆質問やご意見など

- ・定住人口の促進を図ってほしい。
- ・企業誘致を進めてほしい。
- ・テニスコート建設計画の調査は十分だったのか。



日 時：11月12日(月)
午後7時～
会 場：中島市民センター (B班)
参加者：12人

◆質問やご意見など

- ・ケーブルテレビの接続率が低いのは何故か。
- ・自主防災組織への補助金を見直し出来ないか。
- ・防災無線の有効活用は出来ないのか。

日 時：11月13日(火)
午後7時～
会 場：徳田公民館 (A班)
参加者：15人



◆質問やご意見など

- ・ケーブルテレビの加入率向上の努力が必要だ。
- ・下水道の接続率が上がらないのは何故だ。
- ・報告会は良い試みだ。もっと周知が必要だ。

日 時：11月13日(火)
午後7時～
会 場：北大呑公民館 (B班)
参加者：14人



◆質問やご意見など

- ・北嶺中学校跡地利用案は持っていないのか。
- ・防災無線の拡声器は聞こえにくい。
- ・能登空港の搭乗率に補助金を出してまで拘るのか。



日 時：11月20日(火)
午後7時～
会 場：石崎公民館 (A班)
参加者：7人

◆質問やご意見など

- ・個人情報用途によっては出すべきでは。
- ・多目的グラウンドはもっと多目的に使えないか。
- ・七尾線存続について議会はどのように考えているのか。



日 時：11月20日(火)
午後7時～
会 場：フォーラム七尾 (B班)
参加者：18人

◆質問やご意見など

- ・広域圏解散で全てが職員となるが何人位いるのか。
- ・下水道接続は高齢化が進むと接続意欲がなくなる。
- ・広報に決算額が載っているが執行率がない。

日 時：11月21日(水)
午後7時
会 場：サンビーム日和ヶ丘 (A班)
参加者：8人



◆質問やご意見など

- ・下水道接続に1人世帯への配慮はないのか。
- ・西湾でのカキ被害に対し何か対策はないのか。
- ・下水道接続への意識が足りないと思う。

日 時：11月21日(水)
午後7時
会 場：七尾サンライフプラザ (B班)
参加者：19人



◆質問やご意見など

- ・4月から市民病院だがデメリットはないのか。
- ・広域圏解散についてメリットばかりを執行部は羅列しているが、議会としてチェックしたのか。
- ・長谷川等伯をもっとアピールしてほしい。

*参加された皆さんから頂いた、質問やご意見などは紙面の関係上、全てを掲載していません。ご了承下さい。

◎今議会において、提案された議会議案の結果は下記のとおりです。可決された意見書は、政府各関係機関へ提出しました。

議案番号	意見書名	採決結果
議会議案第26号	メタンハイドレートの実用化を求める意見書	可決
議会議案第27号	次代を担う若者世代支援策を求める意見書	可決
議会議案第28号	少子化対策の推進に関する意見書	可決
議会議案第29号	原子力災害対策の推進を求める意見書	可決
議会議案第30号	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書	可決
議会議案第31号	中小企業の成長支援策の拡充を求める意見書	可決
議会議案第32号	医療体制の整備等に関する意見書	可決
議会議案第33号	「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書	可決
議会議案第34号	七尾市議会政務活動費の交付に関する条例について	可決
議会議案第35号	七尾市議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決
議会議案第36号	七尾市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決
議会議案第37号	七尾市議会議員定数条例の一部を改正する条例について	否決

議会の動き

11月

- 6日 議会運営委員会
全員協議会
- 8日 全国温泉所在都市議会議長協議会役員会
第81回役員会、実行運動（東京都）
- 14日 石川県市議会議長会知事要望（県庁）
- 21日 第145回産業経済委員会（東京都）
- 30日 議会運営委員会

12月

- 3日 のと鉄道運営助成基金組協議会議員協議会
のと鉄道運営助成基金組協議会定例会
- 4日 第4回市議会定例会（～19日）

1月

- 23日 能登総合開発促進協議会（県議会庁舎）
- 25日 第88回能登五市市議会議長会定期総会（珠州市）

人事案件

■副市長の選任、教育委員会委員の任命、監査委員の選任、人権擁護委員の推薦について、それぞれ同意されました。

- ◎副市長
【南藤橋町】 南 紀一 氏
- ◎教育委員会委員
【石崎町】 山崎 篤子 氏
【西三階町】 近江 一芳 氏
- ◎監査委員
【今町】 春成 泰 氏
- ◎人権擁護委員
【能登島向田町】 濱田 睦子 氏
【能登島日出ヶ島】 米田 喜茂 氏

【編集後記】

編集委員会委員
山崎智之

議会基本条例の制定後、2回目の議会報告会が開催されました。報告会における市民の皆さんからの意見が、一般質問でも活用される機会も増えています。「責任ある議会」を実現するため、市民広報の手段である議会だよりも日々改革を進めています。

おしらせ

議会だよりへの、市民の皆さんの率直なご意見・ご感想をお寄せください。なお、議会の会議録については、市内各図書館（中央・本府中・田鶴浜・中島）および能登島生涯学習総合センターに備えてあるほか、市のホームページでも閲覧できます。

七尾市議会事務局内 議会だより編集委員会
TEL (0767) 53-8433
<http://www.city.nanao.lg.jp>
市のホームページからメール送信することもできます。